

六月三十日(木)午後三時

夏越のなごし

# 大祓式おおはらえ

茅の輪くぐり神事ちわ



写真提供 side\_colorful

神道青年全国協議会主催

第4回インスタグラム神社フォトコンテスト

「神社とわたしの思い出」

特別賞受賞作品

※ 神事には自由にご参列頂けますが、それぞれ

マスク着用等感染対策にご配慮下さい。



## 【伊奈富神社の創祀と疫病の終息】

伊奈富神社の御創祀は古く、今より二千百十二年前の崇神天皇の五年に遡ります。我が国最初の正史とされる『日本書紀』には崇神天皇の五年、国内に疫病が流行り国民の大半が犠牲となつたとの記録があります。翌六年に日本大國魂神、大物主神、諸神を祀り、七年に終息しました。

うけもちのかみなをとおくにみちのみこと

『日本書紀』の記録にはありませんが、当社の御祭神である保食神那江大國道命が崇神天皇五年に現在の地に祀られたのは、この出来事に関するものと思われまます。当時、崇神天皇はこの疫病の終息に心身を碎き、誠の心でもって国内の神々を祀り、その一つがこの伊奈富神社でした。

大祓式とは日常において知らず知らずに犯した罪、心身の穢れ、一切の災厄を消滅させ、人間本来の清浄な姿をとりもどし、平穩無事な生活を期待する日本古来の習わしです。六月三十日(夏越)と十二月三十一日(年越)に行われ、当社では特に夏越の大祓式に茅の輪を構えて行います。新型コロナウイルス感染症に身も心もまさに「気枯れ(IIヶガレ・穢れ)」てしまった我々の、生き生きとした日常に直るべく、本年も謹んで斎行致します。

### 【大祓式のお申込み】

①下段写真の「大祓式」セットを神社にてお受け下さい。

②セットに同封の人形・車形を用いて祓えの作法を行ってください。

③申込用紙に必要な事項をご記入下さい。

④祈祷料を添えて神社へお納め下さい。

※ご遠方からご希望の方はお問い合わせ

せ下さい

ひとがた 人形 一〇〇〇円

くるまがた 車形 一〇〇〇円



# 伊奈富神社

電話 〇五九一三八六一四八五二

いのう